

## ハマフェフキの中間育成

南 洋一\*・鳩間用一

### 1. 目的

平成 16 年度は養殖用の大型種苗(全長 50 mm)6.5 万尾を生産する。

各水槽には自動給餌機 2 ~ 4 台を設置し、配合飼料を給餌した。また、稚魚の魚体重を適宜測定し、総魚体重の 3 ~ 15 %を一日あたりの給餌量とした。

### 2. 材料と方法

中間育成には、種苗生産回次 2・3 回の種苗 8.3 万尾(18.0 ~ 43.9 mm)を用いた。飼育は、屋内 50kL 円形水槽 2 面で開始し、成長に応じて 50kL 水槽 2 面へ分槽した。

底掃除は毎日行い、回収した斃死魚の計数を行うことで、生残数の推定を行った。

出荷時は手作業により全長 50 mm以下の個体と骨格異常魚の選別を行い、ベルトコンベアー式のフィッシュカウンターを用いて計数を行った。

表1ハマフェフキの中間育成結果

| 種苗生産 | 生産回次   | (回)    | 2         | 2              | 3              | 3              | 合計     |
|------|--------|--------|-----------|----------------|----------------|----------------|--------|
|      | 生産水槽   | (水槽名)  | C-3       | C-3            | C-1            | C-1            |        |
|      | 取上平均全長 | (mm)   | 28.3      | 28.3           | 25.7           | 25.7           |        |
| 中間育成 | 生産回次   | (回)    | 1         | 1              | 2              | 2              |        |
|      | 開始日齢   | (日)    | 61        | 82             | 61             | 79             |        |
|      | 開始年月日  | (月日)   | 2002/4/9  | 2002/4/30      | 2004/4/12      | 2004/4/30      |        |
|      | 生産水槽   | (水槽名)  | F-6       | F-8            | F-1            | F-3            |        |
|      | 水槽規模   | (kL)   | 50        | 50             | 50             | 50             |        |
|      | 稚魚の収容数 | (尾)    | 39,330    | F-6の半分を移送      | 43,394         | F-1の半分を移送      | 82,724 |
|      | 開始密度   | (尾/kL) | 787       | 約393.5         | 868            | 約434           |        |
|      | 飼育日数   | (日)    | 31        | 10             | 32             | 14             |        |
|      | 取上年月日  | (月日)   | 2002/5/10 | 2002/5/10      | 2002/5/14      | 2002/5/14      |        |
|      | 取上尾数   | (尾)    | 39,120    | *              | 32,412         | *              | 71,532 |
|      | 生残率    | (%)    | 99.5      | *              | 74.7           | *              | 86.5   |
|      | 取上平均全長 | (mm)   | 59.6      | *              | 59.2           | *              |        |
|      | 飼育水温   | (℃)    | 22.5~24.0 | 23.5~24.1      | 23.0~25.2      | 23.5~25.3      |        |
| 備考   |        |        | F-8へ分槽    | *最終的にF-6に合計した。 | F-3へ分槽         | *最終的にF-1に合計した。 |        |
|      |        |        | 養殖用配布     | 養殖用配布          | 養殖用配布<br>試験用配布 | 養殖用配布<br>試験用配布 |        |

### 3. 結果

平成 16 年度の中間育成結果を表 1 に示した。

中間育成 1 回次の生残率は、99.5 %と高い結果となった。最終取り上げ尾数は 39,120 尾(平均全長mm)であった。飼育密度は、水槽 100kL 当たり全長 59.6mm の種苗を約 3.9 万尾を生産し、390 尾/1kL(魚体重 1.3kg/kL)であった。

中間育成 2 回次の生残率は、1 回次よりも低く 74.7 %となった。最終的な取り上げ尾数は 32,412 尾(平均

全長 59.2mm)であった。飼育密度は、100kL 水槽当たり全長 59.2mm の種苗を約 3.2 万尾を生産し、320 尾/1kL(魚体重 1.0kg/kL)であった。

養殖用の大型種苗の要望数は、需要調査では最終的に 6.5 万尾であった。今回の中間育成では約 7.2 万尾取り上げ、そのうちの 6.3 万尾を養殖用として出荷した。また、これとは別に試験用として、水産試験場へ 3,865 尾を出荷した。